

# 症例検討会

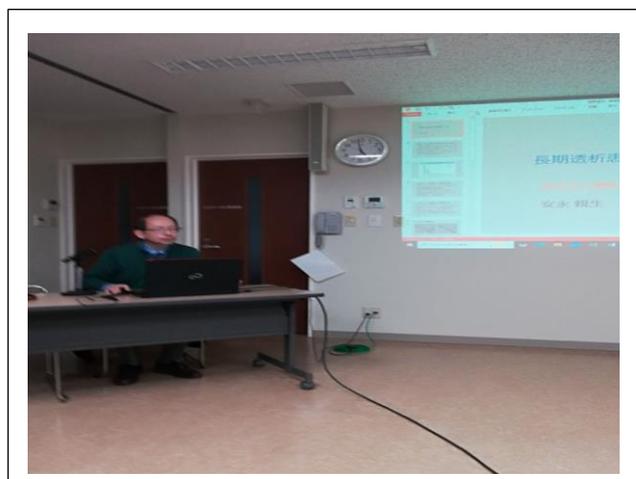
日時：R6 年 12月 3日(火) 17時より開始

場所：新王子病院 4F 会議室A・B

講師： 済生会八幡総合病院 腎臓内科 安永親生先生

テーマ： 長期透析患者の腎腫瘍の一例

講義中の様子です。



国内でも50年を超える透析患者さんは数名のみですが当院の透析歴53年の患者様の症例です。長い透析の間に多数の合併症を発症（心疾患、アミロイド、感染症、悪性腫瘍）され、シャント閉塞による受診時に腎腫瘍が発覚。心房内から下大静脈への血栓のために肝不全を発症されました。透析患者さんは検査を受ける機会が多いものの、腎癌などの泌尿器系の腫瘍も多く、全身的な癌の発症リスクも高いとのことでした。しかし、他国と比較すると本邦では医療水準や透析の質の高さが関連し死亡率は低いとのことでした。長期透析の患者様への関心度も高く当日多くの出席者が出席して学んでいました。